

わかくす

水上校区まちづくり協議会だより

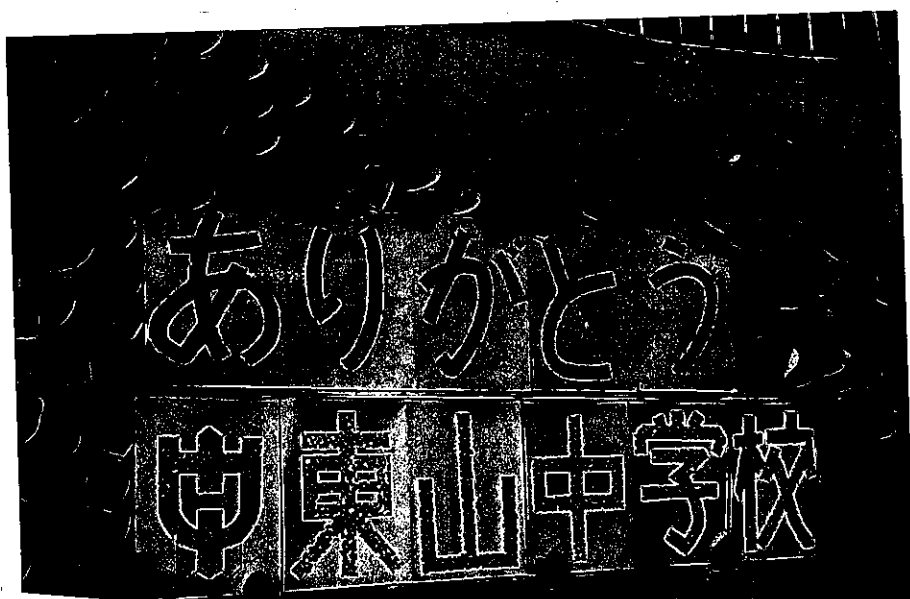
2026年(令和8年)5月1日

閉校特別号

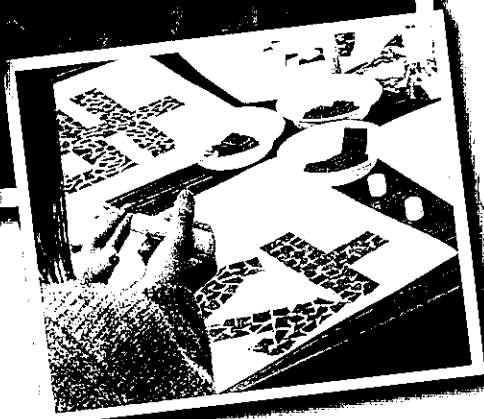
発行：水上校区
まちづくり協議会

編集：文化部
責任者：伊規須 勝廣

大型メッセージパネル謹製



3月6日(金) KBC「アサデス」
天気予報のコーナーにて

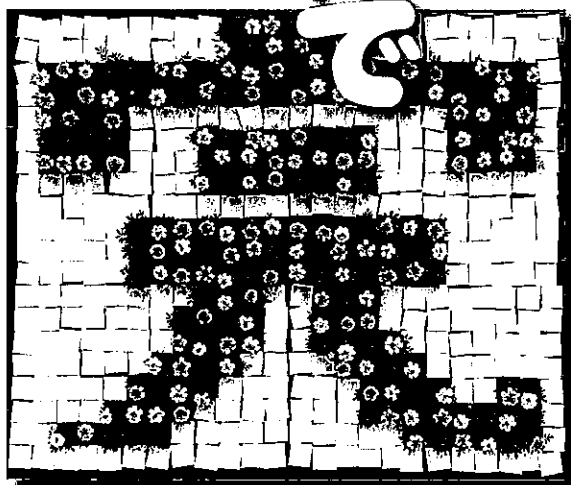


一文字一文字手作業で

みんなの想い
いつぱい
いつつめこんで



令和六年度の美術部のみなさんからの寄贈。これからも大切に活用していきます。



卒業式恒例の花文字も今回がラストに

【東山中学校の閉校に寄せて】

東山中学校は、学制改革に伴う新制中学校として1947年(S22年)に発足し、「協和・精進・自治」の校訓に沿って、『多様性を尊重する態度や互いの良さを生かして協働できる生徒の育成』を教育目標とし、数多くの生徒の育成がなされました。

少年期から青年期へと成長していく多感な時期を東山中学校で学び、成人され社会人として夫々の枠割を担った人生を歩んでおられるものと拝察いたします。

この度の水上校区まちづくり協議会「ふれあいフェスタ」は、従来の展示品の見学から参加型へ進化した企画がなされ、文化部を中心に、事務局・役員による準備が進められました。

2月21日(土)には、多くの参加者を得て、「ありがとう東山中学校」をメインテーマに、ビデオクイズをはじめ、大型メッセージパネルの作製がなされました。

参加者は、当時の思い出と感謝を込めて寄せ書きを行いました。感慨深いひとときに、「光陰は矢よりも早し」の感を深めた次第であります。

後日談として、参加された皆様からの感謝や「良かった」のお声を頂いたことは、関係者一同の喜びでもあります。皆様本当にありがとうございました。

水上校区まちづくり協議会 会長 伊規須 勝廣

<沿革> 抜粋

昭和22年4月	東山村立東山中学校(清水小に併置)
6月	山の上仮校舎竣工
昭和23年	現在地に第1校舎竣工
昭和24年	第2・第3校舎竣工し、全生徒収容
昭和31年	瀬高町と合併し、瀬高町立東山中学校と改称
平成19年	みやま市誕生
	みやま市立東山中学校に改称

—「みやま市史 通史編 下巻」参照—

— ありがとう 東山中学校 —

これは、昭和30年度(1955年)の卒業アルバムに載っていた、当時の東山中学校の正面玄関の写真です。懐かしいなあと思われた方も多いことでしょう。

惜しまれながら、令和7年度で閉校となる東山中学校の歴史を、今回ご協力頂いた方々のお話から、少しひもといてみたいと思います。



この校章は、父がデザインしたと聞いています。「HIGASHIYAMA」の頭文字の「H」と「中学校」の「中」を組み合わせています。

当時、父は、数学を担当する傍ら、演劇部の顧問していました。

台本から照明・衣装・小道具まで全部手作りで、生徒さん達と一緒に頑張っていたようです。

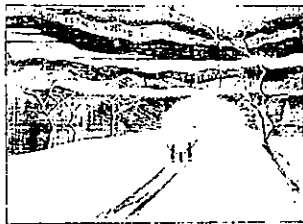


中でも「ビルマの立琴」の劇は、特に心に残っていたと聞いています。

この頃の部活には、「売店部」「生花部」「相撲部」「珠算部」などもあったようです。

～間々田 哲男先生のご家族より～
(昭和22年から20年以上東山中に在職)

The Memories of Our School Life 1955



The 8th Time

今回、上記の記事をもとに思い出メッセージを呼びかけたところ、たくさんの方々にご協力いただきました。それを「昭和」「平成」「令和」でまとめてみました。

現在、瀬高自動車学校がある場所は、昔、山でした。戦後、その山の上にあった軍隊の兵舎跡地に、仮校舎が建てられていました。当時の校名は、「東山村立東山中学校」でした。

山の上だったので、運動場が狭かったです。そのため、ボールを使った運動の時、受け損なうと、ボールを追って谷底まで拾いに行かなければならず、とても大変でした。

今中学校がある場所に、新しい校舎が建設中だったので、出来上がるのを楽しみにしていました。

今となっては、懐かしい思い出です。

～昭和24年度卒業(3回生) 熊川 正彰さん～

自分達が中学生の頃には、校名が「瀬高町立東山中学校」になっていました。一学年で5クラスあり、200人～250人ぐらいいたと思います。

校舎の場所は、今と同じで、校歌も昔から変わっていないと思います。

今のように給食があるわけではないので、毎日弁当持参でした。

自分達がいる時に、鉄筋コンクリート平屋の校舎ができました。

- | | |
|----|--|
| 校歌 | 作詞 立花 修羅
作曲 武末 繁 |
| 一 | かすみたなびく多良の峯
希望にもえて大らけく
若き生命の感激に
学ぶ使命に生きるべき
我らは中学東山 |
| 二 | 千古の流れ 矢部の水
夏勤勞に 身をねりて
若き生命の感激に
にこる時潮にたゆるべき
我らは中学東山 |
| 三 | 秋紅葉する筑後路に
自主のはたをかざしつ
若き生命の感激に
郷土の文化 築くべき
我らは中学東山 |

～昭和36年度卒業生より～

「みやま市史 通史編 下巻」参照

地域と共に歴史を刻んできた東山中学校



令和 8 年 3 月閉校

校 歌

作詞 立花 修羅
作曲 武末 繁

一 かすみたなびく多良の峯

希望にもえて大らけく

若き生命の感激に

学ぶ使命に生きるべき

我らは中学東山

三 秋紅葉する筑後路に

自主のはたをかざしつつ

若き生命の感激に

郷土の文化築くべき

我らは中学東山

二 千古の流れ 矢部の水

夏勤劳に 身をねりて

若き生命の感激に

にごる時潮にたゆるべき

我らは中学東山

【編集後記】

御協力いただいた皆様のおかげで、東山中学校の長い歴史の中、それぞれの時代の様子を垣間見ることができました。

卒業生のみなさんや先生方のみならず、今まで東山中学校に関わって下さった、みなさんお一人おひとりの想いをこれからもずっと大切に！

そして、みやま中学校でもすてきな思い出がたくさんできますように！